

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



手をつないで歩けるまちづくりって、いいよね。

とくち まさひろ
戸口 勝が問う

小川町駅周辺整備の実現を

Q 駅周辺再開発における、補助金の方向性は。

A 都市政策課長 北側周辺整備では、社会資本整備総合交付金を活用し、まちづくり交付金、または都市再生構築戦略事業を考えていますが、今後を見据え、より有利な交付金活用の実施をしたいと考えています。

Q 高齢者の割合が多いことから、歩いて外出する機会を増やす場所づくりが必須である。歩道の整備や空き店舗の活用が急務の課題であるが。



歩道の整備が待たれる大関町通り。

A 都市政策課長 今年度は、相生町交差点から晴雲酒造付近までの約100メートルの歩道部の平坦化を目的とする工事を予定しています。引き続き県と粘り強く協議を行ない、歩道の整備をしていきたいと思っています。また、空き店舗の解消を図り、商店街のにぎわいの創出・活性化に取り組んでいきます。

Q 懸案事項でもある大関町通り、ヤオコー通りに高齢者・若者・子供たちすべての世代が安心して「手をつないで歩けるまちづくり」が必要と考えるが。

A 都市政策課長 議員からの貴重なご提言を受けとめ、実現に向け取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

・松本町長の未来予想図について



町民の意識は高いです。その力を出す施策でしょう。

たかはし
高橋さゆりが問う

健康寿命を延ばすためには

Q 高齢者のフレイル¹予防を進めることが重要と考えるが。

A 長生き支援課長 今年度は特にここに着目し、早期に多角的に介入することです。フレイルの改善を図っていきます。並行して100歳体操をすることで、フレイル予防にも非常に効果があると考えます。

Q 民間での「居場所づくり」が増えているがどのように活用していくのか。

A 長生き支援課長 今後広く周知をし、地域の方が利用に際し行うイベント



定員以上の申し込みがあった自主防災組織リーダー研修会。

等に、講師等の依頼には協力したいと考えています。

災害時における組織強化を

Q 災害時には共助としてボランティアの確保が重要と考えるが。

A 防災地域支援課長 災害時に町・消防署・消防団・自主防災組織が全てに対応することは困難です。ボランティア活動が災害時には重要な役割を担っていることは、阪神・淡路大震災において再確認されたところです。

今後、各種団体との災害時における支援協定の締結や社会福祉協議会との連携強化など、平時からボランティアへの支援要請・確保に努め、いざというときに備えていきたいと考えています。



ブリン跡地を自然破壊災害被害にさらしてはならない。

かさほら たけし
笠原 武が問う

メガソーラー建設には一考を

Q まだ太陽光発電建設の許可も下りていないのに、重機持ち込み工事などは許されないのではないか。

A 環境農林課長 昨年11月の重機進入については、調整池の状況確認が行なえるよう事業関係者が事前に場内の作業道等の敷の除去作業を行なったものです。この事実を受け、林地開発の許可権者である県の森づくり課から事業者に対し、管理のための作業であっても無断で実施しないよう厳しく口頭で指導を行なっています。これを受けて、今年1月26日に寄居林業



県が設置した不法投棄禁止「監視カメラ作動中」の看板。

Q 「住民への周知」を町はすぐにもする必要があるのではないか。早く説明会を持つよう予定業者に行政から働きかけるべきではないか。

A 環境農林課長 事業者の責務として計画の概要が明らかになった時点で、利害関係者を対象とした説明会を開催し、利害関係者の要望に基づく協議を行なうとしています。町としても、このことは重大事項として捉え、事業者に改めて要請していきたくと考えています。

その他の質問

・第2期松本町政の方針の中心は何か

解説 フレイル¹

加齢に伴って心身の機能が低下し、要介護になる恐れが高い状態。要介護になる一歩手前、健康な状態から要介護になるまでの間の状態。

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」



統一感のあるB級グルメってないよね。この際考えては

公共工事



(T・Uさん・62歳)

小川日赤管理棟の新規建設



(T・Tさん・48歳)